

第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 マスコットキャラクター（案）

1 制定目的

第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）を象徴し、広く県民に愛されるようなマスコットキャラクターを制定し、大会開催の機運を高める。

2 第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会マスコットキャラクター

今後、開催 5 年前に内定になった後、所要の手続きを経て、公式マスコットキャラクターとなる。

『アルクマ』



【国体・全障スポにおける「アルクマ」の活用の仕方】

- 大会のマスコットキャラクターであることを表すデザインとするため、炬火トーチをマスコットキャラクターの手に持たせたり、ユニフォームを着用させる等の大会仕様デザインを作成。
- 各競技等に対応する展開型のデザインを必要に応じて作成。

3 選定理由

- (1) 長野県 PR キャラクターとして、県広報をはじめ、様々なイベント等で活躍しており、その実績を基に、着ぐるみ(2020 年現在の稼働数 9 体)や既存のイラスト等を活用でき、着ぐるみやご当地バージョン等のデザインは、大会後も活用できる。
- (2) 「ゆるキャラグランプリ 2019in しあわせ信州 NAGANO」でグランプリを獲得したことにより、その全国的な知名度を生かすことができる。(2020 年を最後にゆるキャラグランプリは終了)
- (3) 2017 年に長野県で開催された「第 72 回国民体育大会冬季大会（ながの銀嶺国体）」において、マスコットキャラクターに採用され、冬季スポーツの魅力および国体開催を全国に発信した実績があり、その設定を活かし、バージョンアップさせ、県内外へ発信することができる。
- (4) 長野県の既存キャラクターの中で、老若男女問わず一番認知度が高く、大会マスコットキャラクターと役割が重複している。
- (5) 新規採用のデメリットに比べ、既存採用のデメリットについては、大会仕様の新しいコスチュームの作製、任命式等のイベントにより、新鮮なイメージや話題を提供でき、工夫次第でカバーすることが可能である。